

## 昨年の足あと



道後温泉本館(3/21)



西武ドーム LvsT(6/3)  
榎田大樹の前に敗北



阪神甲子園球場(8/5)  
高校野球 100 回目の夏 開幕



東京ドーム GvsT(8/26)  
8 回表に 6 点をとり逆転勝利



横浜スタジアム DevsT(9/16)  
大山悠輔のホームランボールが隣席に



西武ドーム LvsH(9/17)  
栗山&中村同席コンビで M11 点灯



桜谷経便鉄道(11/4)



極楽橋駅(11/10)  
ケーブルカー更新に伴う乗り始め



別府駅前(11/23)  
ラクビーW 杯を祝う



平成駅 (11/23)  
平成も終わり 次の元号は？



西郷隆盛像(11/24)  
こちらは東京上野でなく鹿児島



S 川端慎吾選手(12/9)

## 2019 年のごあいさつ

「新しい元号は、『平成』です」と当時の小淵官房長官が発表したので今から 30 年前の 1 月 7 日でした。その翌 8 日から「平成」という時代が始まりました。その「平成」は、55 年体制を終了させ、幾多の災害と事件を乗り越え、今年の 4 月 30 日で終えようとしています。

昭和最後のシーズンとなった昭和 63(1988)年のプロ野球は、阪急と南海が身売り、ロッテ vs 近鉄の「10・19」、東尾修・山田久志・福本豊の引退と激動の一年でした。そんな中、南海の門田博光は、40 歳にして本塁打王・打点王・パリーグ MVP を獲得し、『不惑』のホームラン王」という呼ばれました。そんな私も不惑の歳に突入します。

その 30 年後となる平成 30(2018)年を振り返ると、6 月の大阪北部地震から始まり豪雨・猛暑・台風 21 号と災害に見舞われる一年でした。職場・自宅周辺も被害を受け、通勤にも支障がでました。被害の爪跡は、まだ残っている状況です。プロ野球は、埼玉西武ライオンズが 10 年ぶりのリーグ優勝したものの CS で敗退、我が阪神タイガースは 17 年ぶりの最下位になり金本監督が辞任、松井稼頭央・新井貴浩らの引退というシーズンでした。

今年は、先述の改元対応・統一地方選挙・参議院選挙・大阪府知事選挙・消費税 10%とあり、2020 年夏季五輪の前にこの国の行方が左右される一年になりそうです。

4 年連続 V 逸をした宿敵東京讀賣巨人軍は、讀賣グループ内の人事異動で監督を交代させ、相変わらず他軍の選手をあの手この手でかき集めて戦力補強を進めています。

我が阪神タイガースは、矢野燿大新監督がどこまでぶち破ってくれるかを見てみたいものです。勝利の美酒と我らが国歌「六甲おろし」を高らかに歌えることを願っています。(ヤケウガイはいりません！)

